芝刈機取扱説明書

Model: DYM1565M(18”手押し)

Model: DYM1560M(20”自走)

ブリッグス アンド ストラットン ジャパン株式会社

目　　次

第 1 章　製品上のシンボルマーク 3

第 2 章　一般的な安全規則 3-7

第 3 章　部品名称 7-8

第 4 章　仕様書 8

第 5 章　組立 8-9

第 6 章　マルチング 10-11

第 7 章　運転操作 11-13

第 8 章　メンテナンス 13

第 9 章　潤滑 13

第 10 章　清掃 13-15

第 11 章　シーズンオフの保管 15-16

第 12 章　トラブルシューティング 16

第 13 章　保証 17

⚠ 警　告:

自分の安全性のために、新しい芝刈機を操作する前にこの取扱説明書をよく読んでください。
指示に従わないことは重大な身体傷害となる場合があります。
ご使用の前に芝刈機に充分に慣れるようにしてください。

第 1 章 製品上のシンボルマーク

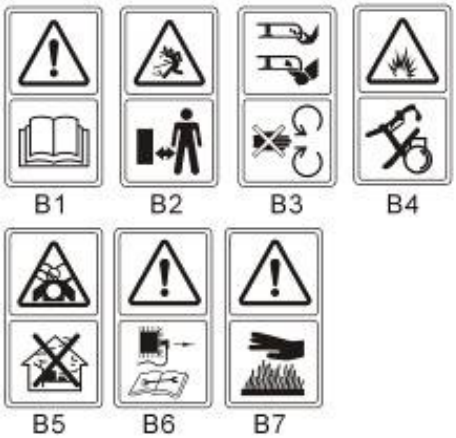


図. A

B.1 ⚠ 警　告: この取扱説明書をよく読んでください。

B.2 ⚠ 警　告: 部外者を近づけないでください。

B.3 ⚠ 警　告: ブレードから手や足を離してください。

B.4 ⚠ 警　告: 燃料は可燃性です。常に離してください。エンジン運転中は絶対に燃料補給しないでください。

B.5 ⚠ 警　告: 毒性ガス; 囲まれた屋内では運転むしないでください。

B.6 ⚠ 警　告: 修理の際はスパークプラグ・コードを外して、取扱説明書に基づいて修理してください。

B.7 ⚠ 警　告: エンジンは熱くなります。

第 2 章 一般的な安全規則

シンボルと警告

安全シンボルである ⚠ は身体傷害となる危険に関する安全情報を識別するために使用されます。

可能性および傷となりうる潜在的な厳しさを示すために、単語(危険、警告あるいは注意)は分かりやすいシンボルと共に使用されます。
さらに、危険シンボルは危険のタイプを表わすために使用されています。.

⚠ **危険**　指示を守らないと死または大ケガとなる危険を示します。

⚠ **警告**　指示を守らないと死または大ケガとなるかもしれない危険を示します。

⚠ **注意**　指示を守らないと小さなケガとなるかもしれない危険を示します。

注意　製品への損害を結果として生じるかもしれない状況を示します。

所有者の責任

⚠ **警　告**: この芝刈機のブレードは手や足を切断することがあり、ケガや後遺症を引き起こす場合があります!　次の安全の指示に応じないことは、オペレータあるいは他の人への大ケガもしくは死に至るかもしれません。

芝刈機の所有者はこれらの指示を理解し、これらの指示を芝刈機の操作が正しく出来、かつ理解するオペレータだけに使用するようにしなければなりません。
芝刈機のオペレータは健全な心身で、少しの物質の影響を受けていないことが大切です。これを怠ると視力、機敏な動き等の判断を損なうかもしれません。
ご不明な点はお買い求めの販売店にご相談ください。

オペレータの安全説明

子供への配慮

オペレータが子供の存在に注意を払わなければ、悲劇の事故が起こる場合があります。子供は芝刈機や芝刈りそのものにしばしば引きつけられます。つい前に見たところに子供がまだ同じ場所にいるだろうと仮定しないでください。
芝刈するエリアから子供たちを遠避け、オペレータ以外の信頼できる大人の下で見守るようにしてください。

1. 芝刈機を操作する場合は周囲に子供たちを入れないようにし、誰かがそのエリアに入れば、芝刈機を直ちに停止してください。
2. 10 歳以下の子供には絶対操作させないでください。
3. 10 代の子供が操作する場合は、芝刈機の操作に慣れ、正しく判断を持った人だけが芝刈機を操作してください。
4. 絶対に必要なければ、芝刈機を後ろに引かないでください。後方をよく見て、子供やペットなどの危険がないことを確認してバックしてください。
5. 見え難い角や潅木、木、あるいは気づきにくい他のものに接近する場合は、特に注意を払ってください。,

スロープ(傾斜地)での操作

1　スロープ(傾斜地)はスリップし易く事故になる主な要因となります。事故により重症となる場合があります。スロープでは充分な注意を払ってください。スロープで不安に感じれば、芝刈り作業をしないでください。
2　スロープでは横切って刈ってください。不安定または牽引が不確かで草が険しい傾斜(最大 10 度)あるいは他のエリアでは芝刈り作業をしないでください。
3　集草バッグあるいは他のアタッチメントには充分な注意を払ってください。これらは芝刈機の安定性に影響します。

操作前の準備

1. この取扱説明書中の芝刈機及びエンジンに関する指示や警告を読んで、理解し従ってください。エンジン始動前にコントロールおよび芝刈機の正しい使用方法を理解してください。
2. 正しく理解された方のみが、芝刈機を適切な操作方法に基づき操作してください。
3. 芝刈機に関連してケガをする人は、データによると 60 才以上の方が多くなっています。このため 60 才以上の方が操作する際には、大ケガを防止するべく芝刈機を充分に安全に操作してください。.
4. 燃料の取扱い時は充分に注意してください。燃料は可燃性で、蒸気は爆発性があります。認可された鉄製

の燃料容器のみを使用してください。エンジンの運転中は燃料タンクキャップを外したり、燃料を補給しないでください。エンジンを停止し、エンジンが冷めてから戸外で補給してください。芝刈機からこぼれた燃料やオイルはふき取ってください。燃料の取扱時は絶対に禁煙です。

5. 芝刈しようとする場所にはおもちゃ、ワイヤ、岩等の異物が無いことを確認してください。また刈った芝が放出されることによって損傷することが無いよう確認してください。さらに穴や幹および他の可能な危険の有無に注意してください。
6. 芝刈するエリアから人々とペットを遠くに離してください。このエリアに立ち入る人があれば直ちにエンジンを停止して芝刈り作業を中止してください。.
7. 正しく操作するために芝刈機のシールド、デフレクタ、スイッチ、ブレードコントロールおよび他の安全装置を頻繁に点検してください。.
8. 安全ラベルがすべて正しく読めることを確かめてください。もし破損していれば交換してください。.
9. 芝刈作業の際には保護メガネ、防塵マスク、作業しやすい長ズボン等の衣服や靴を着用してください。はだしや、サンダルなどでは芝刈作業をしないでください。
10. 緊急に備えてブレードやエンジンを素早く停止させる方法を知っておいてください。
11. トレーラーかトラックに芝刈機を載せる場合、充分に注意をしてください。.
12. 集草バッグに磨耗して穴が開いて小石や異物が出てこないかどうか頻繁に点検し、損傷していれば交換します。

ガソリンの取扱注意

ケガや物的損害を回避するために、ガソリンを取り扱う際に充分な注意をしてください。
ガソリンは非常に可燃性です。また、その蒸気は爆発性があります。

1. たばこ、葉巻き、パイプおよび他の点火源となるものはすべて消してください。.
2. 認可された鉄製の燃料容器を使用してください。
3. エンジンの運転中は燃料タンクキャップを外したり、燃料を補給しないでください。
4. エンジンを停止しエンジンが冷めてから戸外で補給してください。
5. 裸火や種火のついている湯沸し器等がある近くや屋内に、芝刈機あるいは燃料容器を格納しないでください。
6. 車両内部や、トレーラー・ベッド上で樹脂製燃料容器に燃料を給油しないでください。常に、充満前に地面に容器を置きを乗り物から遠ざけて置いてください。
7. ガソリンエンジン搭載の車両やトレーラーからガソリンを抜き取る場合、容器は地面に置いてください。これが不可能な場合は、ガソリン・ディスペンサー・ノズルではなく、ポータブル・コンテナを使用して、容器に燃料を給油してください。
8. 自動車やトレーラーの車内でエンジンを始動しないでください。
9. 燃料給油が完了するまで、燃料タンクもしくはコンテナのノズルを縁に接触させてください。ノズル・ロック開いたままで使用することはおやめください。
10. 燃料が衣類にこぼれた場合は、衣類を変えてください。
11. 燃料タンクに入れ過ぎないでください。タンクキャップを確実に締めてください。

運転操作

1. 回転部の近くもしくはその回転部の下に手あるいは足を置かないでください。エンジンを運転している間、芝刈機の放出口はきれいにしておいてください。
2. 砂利道、歩道あるいは道路を横断するとき、もしくは放出された草等が危険と想定される場合はエンジンを停止させてください。
3. 芝刈り作業は昼間もしくは十部に照明された元で行ってください。
4. 芝刈り作業をする前に投薬や飲酒後には実施しないでください。
5. 異物を打撃したりあるいは芝刈機が異常に振動する場合は直ちにエンジンを停止させ、スパークプラグ・ワイヤを外して離してください。芝刈機を検査し損害の有無を確認して、エンジン始動前に修理してください。

6. 溝あるいは盛土の近くでは落下の危険がありますので、芝刈作業はしないでください。オペレータは足場またはバランスを失うかもしれません。
7. 穴および他の隠れた危険のための停止警告。高い草は障害を隠すことがあります。
溝、崩壊箇所、暗渠、フェンスおよび突き出ている物に近づかないでください。.
8. 湿った草は刈り取らないでください。足場を常に確認してください。ハンドルをしっかり持って走らずに歩いてください。スリップすると傷を引き起こすかもしれません。
9. エンジン運転中は、常にハンドルを握り後方についてください。
10.エンジン運転中は絶対に芝刈機から離れないでください。何らかの理由で芝刈機から離れるときはブレードを止め、エンジンを停止してください。
11.清掃や修理か検査にする前には、ブレードとエンジンおよびすべての可動部が停止していることを確認します。不意な始動を防ぐためにスパークプラグ・ワイヤをプラグから外し、離してください。
12.エンジンを停止し、ブレードが停止してから集草バッグやデッキ内の草を除去をしてください。
13.集草バッグを取り付けないまま、もしくはディスチャージガードや後方のガード等の安全装置を外したまま芝刈機を操作しないでください。刈り取った芝の放出方向に人や通過車両、家の窓やドアに向けないでください。
14.壁や障害物に向けて刈った芝を放出しないでください。放出された芝等が跳ね返ってオペレータへ跳ね飛ぶかもしれません。
15.旋回する時はスピードを落としてください。
16.道路に近いか、車道を横断している場合、交通状況を見張ってください。
17.囲まれた場所ではエンジンを操作しないでください。エンジン排気ガスは一酸化炭素(劇薬)を含んでいます。
18.純正の付属品だけを使用してください。付属品の適切な取扱および取り付けについては、メーカーの指示を参照してください。

メンテナンスと保管

1. 芝刈機及び燃料容器を屋内で、裸火が付いている湯沸し器、炉、衣類乾燥機あるいは他のガス器具の近くには保管しないでください。芝刈機を格納する前にエンジンを冷やしてください。燃料容器はよく換気された建物で子どもの手の届かないところに保管してください。.
2. 火災危険およびエンジンオーバーヒートを少なくするために芝刈機とエンジンを草、葉っぱあるいは余分なグリスを取り除いてください。
3. 燃料タンクをドレンする場合、戸外で裸火から遠ざけて許容された容器に燃料を抜いてください。
4. ボルト、特にブレード取付ボルトをすべてしっかりと締めます。コッタ・ピンが適切な位置にあることを確認してください。
5. エンジンを運転する場合、常に適切な換気のある場所で行ってください。エンジン排気ガスは一酸化炭素(劇薬)を含んでいます。
6. エンジンを修理しようとしたり調整をする際にはエンジンは停止させます。不意のスタートを防ぐためにスパーク・プラグからスパークプラグ・ワイヤを外し、スパークプラグから遠ざけてください。
7. ガバナスピードをむやみに変更したり、オーバースピードにはさせないてください
8. 刈り取った芝が可動部分に当ったり、磨耗して劣化していないか集草バッグをチェックしてください。 ゆるんだ縫い目が広がっていれば、新しいバッグと入れ替えてください。壊れているか、破れていれば、スライダまたはバッグ・アダプタを交換してください。.
9. 芝刈機のブレードは鋭く切れ易いものです。ブレードを扱う場合、防護布で包むか、作業用革手袋を着用して充分に注意して取り扱ってください。
10. スパークプラグの隣の穴とスパークプラグを接触させてによるスパークテストをしないでください。
スパークプラグの点火によりガソリンに引火することがあります。
11. 少なくとも一年に一度は販売店に芝刈機をメンテナンスしてもらい、新しい安全装置を販売店で取り付けてもらってください。
12. 純正交換部品のみをを使用して修理をしてください。

この芝刈機の正しい使いかた

この歩行芝刈機は芝のみを刈るように設計されています。それ以外の他の使用も許されません。
長さ 15cm 以上の草あるいは背の高い雑草と混じり合った草を刈ることは目指していません。
この芝刈機は、家庭の庭で使用することを目的としています。公園または競技場等の広い面積の草を刈ることには適しません。

.

第 3 章　部品名称

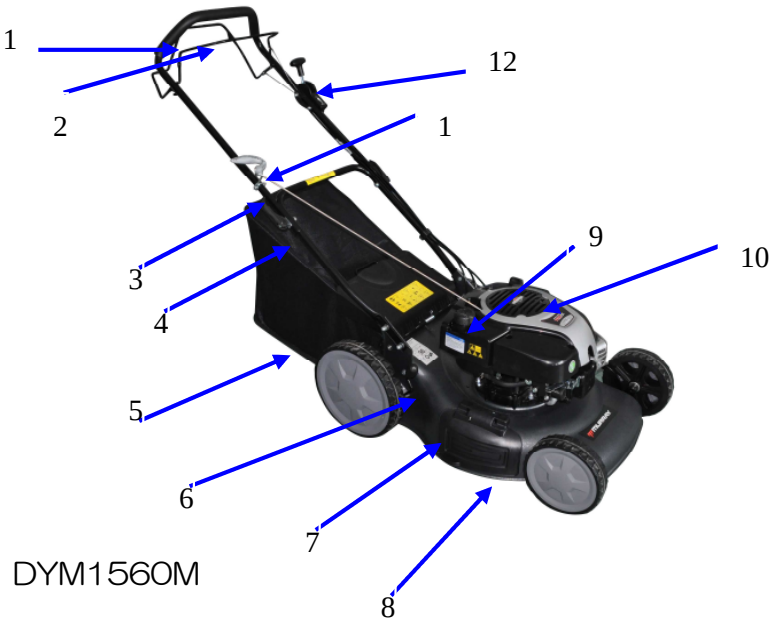
1. 自走ハンドル
2. ブレーキハンドル
3. ロープ・ガイド
4. ロッキングレバー
5. 集草バッグ
6. 高さ調整レバー
7. デッキ
8. サイドシュートカバー
9. 燃料タンクキャップ
10. オイルゲージ
11. スタータハンドル
12. スロットルレバー
13. 放出カバー
14. マルチング・ウェッジ

.

付属品

A: スパークプラグレンチ

DYM1565M



DYM1560M

13　14　A

第 4 章　仕様書

モデル	DYM1565M	DYM1560M
エンジンシリーズ&タイプ	550E	750EX
走行システム	手押し	自走
エンジン排気量	140 cc	161cc
刈り巾	460 mm	510 mm
エンジン回転数	2800 rpm	2800 rpm
燃料タンク容量	800 ml	1000 ml
集草バッグ容量	60 L	60 L
重量/総重量	25.6 kg/29.2 kg	35 kg/40.2 kg
刈高さ/調整段数	25～75 mm/10 段階	25～75 mm/10 段階

第 5 章 組立

5.1 ハンドル

1. スパナを用いてデッキに低いハンドルを固定してください。(図2A)
2. 上部のハンドルを固定するために2つのロッキング・レバーを上げてください。(図2B)
3. 操作位置でハンドルをロックするために閉じたロッキング・レバーを押します。
4. スパナを用いてロックナットを回すことによりテンションを調節してください。

図 2A

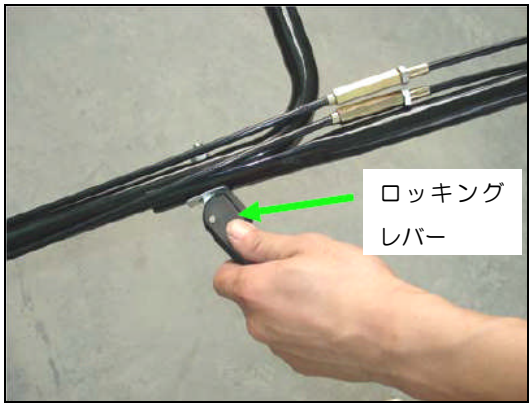


図 2B

5.2 集草バッグの取り付け

図 3A

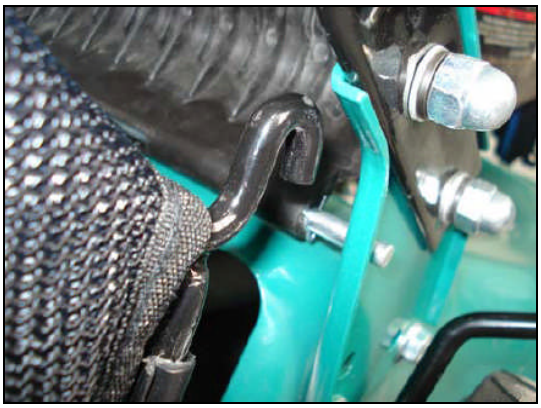


図 3B

1. 取り付け:リヤカバーを上げて、芝刈機の後部上の集草バッグを引っ掛けてください。(図 3A、図 3B)
2. 取り外し:リヤカバーをつかみ上げ、集草バッグを外します。

5.3 スタータハンドル

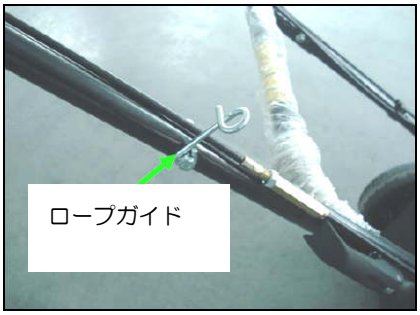


図 4

エンジンからロープ・ガイドにスタータハンドルを移動させてください。(図 4)

5.4 刈高さ調整

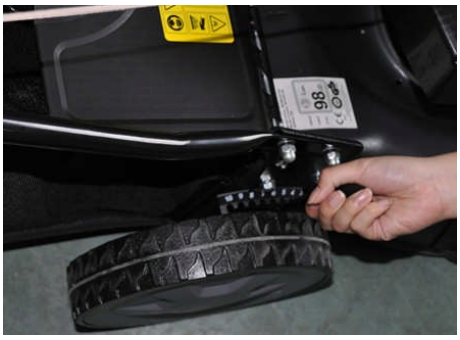


図 5

ラックからレバーを離して押し込んでください。刈り高さを調節するためにレバーを前進させてください。(図 5、また7.9項を参照)

第 6 章　マルチング（ DYM1560M のみ）

これらの芝刈機は適用目的に基づいて、仕様変更することができます::

1. マルチング
2. 横吹き出し(ディスチャージ).

マルチングとは?

マルチングにより芝を 1 回の芝刈作業で、芝を細かく粉砕して芝生に戻し、天然肥料として再活用します。

マルチング作業:

- 芝の高さ 6cm に対して 2cm の高さで刈ります。
- ブレードは鋭利な刃の状態で使用　決して濡れた芝では行わない
- エンジンの回転は最大とします
- 走行できる範囲のみとします
- 汚れていないマルチング・ウエッジをカバーに差し込みます

はじめに

1: マルチング

⚠ 警　告: 必ずエンジンが停止し、ブレードが停止していること。

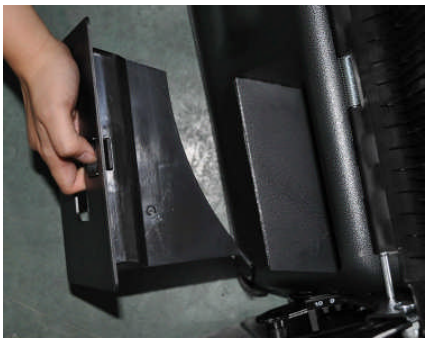


図 6A

図 6B

1. リヤカバーを上げて、集草バッグを外してください。
2. デッキにマルチング・ウエッジを押し込んでください。デッキ上のボタンを下げてマルチング・ウエッジをロックしてください。(図 6A/図 6B))
3. 再びリヤカバーを下げてください。

2: サイドディスチャージ(吹き出し)のリセット

⚠ 警　告: 必ずエンジンを停止し、ブレードが停止していること。

1. リヤカバーを上げて、集草バッグを外してください。
2. ディスチャージ(吹き出し)チャンネルを取付ける。
3. サイドディスチャージ(図 7A)のための横へのフラップを上げます。
4. サイドディスチャージのためのガイドを横へのフラップの支援ピンに取り付けてください。(図 7A)
5. 横へのフラップを下げてください。フラップはディスチャージ・チャンネルの上にあります。(図 7B)

図 7A

図 7B

3: 集草バッグを取付けての芝刈り作業

1. 集草バッグ付で芝刈りするには、サイドディスチャージ用のマルチング・ウエッジおよびディスチャージ・チャンネルを外して、集草バッグを取り付けてください。
2. マルチング・ウエッジを外します。
   -リアカバーを上げてマルチング・ウエッジを引き抜きます。

⚠ 警　告: 必ずエンジンを停止し、ブレードが停止していること。

3. 横へのフラップを持ち上げ、ディスチャージ・チャンネルを外します。

- 横へのフラップは、自動的にスプリング力によってハウジング上のディスチャージ口を閉じます。
- 定期的に、横へのフラップおよび吐出し(ディスチャージ)口から溜まった草及び詰まった汚れを清掃してください。

⚠ 警　告: 必ずエンジンを停止し、ブレードが停止していること。

第 7 章　運転操作

7.1 始動前に

ガソリンやオイルのが入ったエンジンを修理する場合、付属のエンジン取扱説明書に基づき行ってください。取扱説明書の指示を注意深く読んでください。

⚠ 警　告 燃料タンクには、運転停止後少なくとも15分間冷えるまで及び屋内やエンジン運転中は補給しないでください。

7.2 エンジンを始動させブレードを回転させる

図 8A　　図 8B　　図 8C

1. エンジンにはスパークプラグの端にゴムブーツを装備しています。スパークプラグ・ワイヤ(ゴムブーツの内)の端の金具ループがスパークプラグに安全に固定されることを確認します。
2. エンジンを始動させる前にプライマバルブを3-5回押してください。(図8C) DYM1560M **のみ**
3. 冷えたエンジンを始動させる場合、スロットル・チョーク・レバーを回し 位置とします。
   暖かいエンジンでは始動させて操作する場合、スロットル・チョーク・レバーを回し 位置とします。(図8A)
4. 芝刈機の後ろに立って、ブレーキ・コントロール・ハンドルをつかんで、図の中で示されるような上部ハンドルを握ってください。図8B
5. 図8Bに示されるようなスタータ・ハンドルを握って素早く引いてください。エンジン始動後、ロープ・ガイドにそれをハンドル・グリップをゆっくり戻してください。

エンジンとブレードを止めるにはブレーキ・コントロール・ハンドルを放してください。

7.3 操作手順

操作中はしっかりと両手でストップ・コントロール・ハンドルを保持してください。

注: 操作中にストップ・コントロール・ハンドルを放すと、エンジンは停止します。これにより芝刈機が作動停止となります。

7.4 エンジン停止

⚠ **注意:** エンジンが停止時に、ブレードが同時に停止します。

1. エンジンとブレードを停止するるためにストップ・コントロール・ハンドルを放してください。
2. 別のエンジン取扱説明書に記載されているように、芝刈機を使用しない期間は、不意のエンジン始動を防ぐためにスパークプラグ・ワイヤを引き抜いてボディアースしてください。

7.5 自走装置の接続

自走コントロール・ハンドルを握ると芝刈機は、約1 m/秒の速度で自動的に前進します。自走ハンドルを放すと芝刈機は停止します。

⚠ **注意:** この芝刈機は、**最大250mmの高さの芝のみを刈る**ように設計されています。多量の乾燥している芝か濡れた芝は刈らないでください。刈り取った芝は芝刈機のデッキの上に堆積すると、潜在的な火災危険を示すエンジンの排気によって火災となるかもしれません。

7.6 効果的なマルチング

芝カスは取り除いてください。芝生には石、棒切れ、ワイヤーあるいは他の異物が無いよう取り除いてください。 偶然に任意の方角に芝刈機によって放出され器物周辺の破損やオペレータ他にも重大な身体傷害をもたらすかもしれません。濡れた芝を刈らないでください。有効なマルチングのために、刈り取ッた芝がデッキの下に付着して適切なマルチングを防ぐことになります。

芝の高さの上から1/3を刈るようにしてください。刈り取った芝を芝生面に平等に分散することができるよう

に、走行速度を調整する必要があります。密集した芝では最も遅い走行速度に設定してください。長い芝をマルチングする場合、2回に分けて芝を刈らなければなりません。芝の上から1/3の高さにブレードを合わせ刈り、2回目もを1/3の高さまでを刈ります。これにより芝がきれいに刈り取ることができます。最良の刈りあがりとするために、またそれがマルチングの最も有効な仕事をするために、芝刈機のスロットルを常に高速で操作してください。デッキの下側は常に清掃してください。必ず各使用の後に、デッキの下側を清潔にしてください。マルチングした芝はさらに芝生に有益になり得ます。マルチングをした芝が乾燥していて、かつ芝生面に大量にまかないようにすることが大切です。

⚠ **警告:** 異物にブレードが当たった場合は、エンジンを止めてください。スパークプラグからワイヤを外してて、芝刈機をチェックして、芝刈機を再操作する前に損傷箇所を修理してください。操作中の芝刈機の大きな振動は損傷していることを示しています。芝刈機は速やかに検査して修理してください。

7.7 集草バッグ

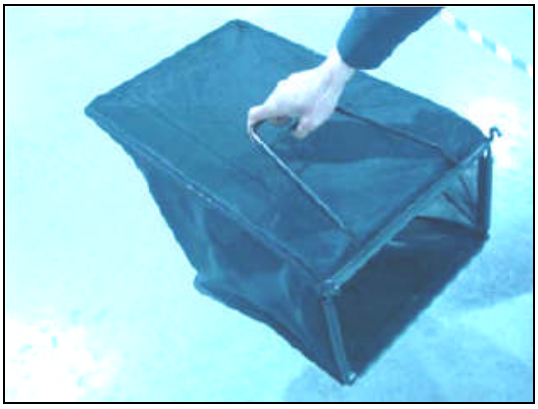


図 9

バッグを空にして清潔にして、それが清潔であることを確かめて、その網状組織が換気されることを確認してください。(図9)

7.8 デッキ

芝刈り後には芝カス、汚れ等が芝刈機デッキの下側に堆積していますので、清掃してください。この芝カス等が堆積されれば、錆と腐食を招き適切なマルチングをすることができません。デッキは芝刈機を起こして、適切な工具(スパークプラグ・ワイヤが外されることを確かめる)で清掃してください。

.

7.9 刈高さ調整

⚠**注意:** 常に芝刈の都のような調整を行う前には、エンジンを停止し、スパークプラグ・ワイヤを外してください。

⚠**注意:** 刈高さを変更する前に、芝刈機を止めて、スパークプラグ・ケーブルを抜いてください。

この芝刈機は10段階の高さ調整ができる高さ調整レバーを装備しています。

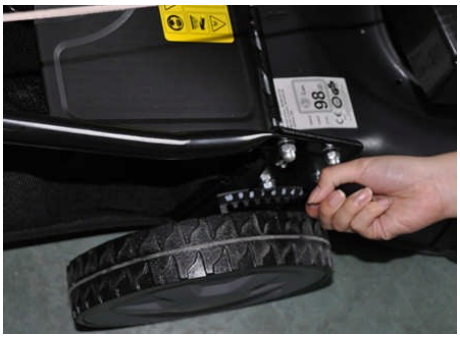


図 10

1. 芝刈機を止めて、刈高さを調整する前にスパークプラグ・ケーブルを抜いてください。
2. 中央の高さ調整レバーで10段階の異なる刈高さを調整します。
3. 刈高さを調整するために、選択された高さの上へレバーを移動して、車輪へのアジャスタ・レバーを押します。(図10)すべての車輪は所要の刈高さとなっています。

第 8 章 メンテナンス

スパークプラグ

純正のスパークプラグを使用してください。
エンジンの性能を確保するためには運転100時間毎にスパークプラグを交換してください。
(エンジンの取扱説明書参照)

第 9 章 潤滑

⚠ **注意:** 修理前にはスパークプラグ・コードを外してください。

1. 車輪-各車輪のボールベアリングにはシーズンに1回は潤滑してください。
2. エンジン-エンジンの取扱説明書に基づき行ってください。
3. ブレードコントロール-シーズンに一度はブレードコントロール・ハンドルおよびブレーキ・ケーブル上のピボット・ポイントをグリスアップしてください。ブレードコントロールは自由に両方向に動きます。

第 10 章　清掃

⚠ **注意:** エンジンに水をかけないでください。水はエンジンを破損するか、あるいは燃料系統を汚染することとなります。

1. デッキを乾燥した布でふき取ります。
2. スパークプラグを上にして芝刈機を持ち上げ、水稲水でデッキ内部を洗います。

10.1 エアクリーナ

⚠ **注意:** 汚れやほこりでウレタン・エアフィルタを詰まらせないでください。

エンジンのエアクリーナは運転25時間毎に清掃してください。芝刈機が乾燥した埃の多い場所で使用された場合、ウレタンエレメントは早めに清掃してください。(エンジンの取扱説明書参照))

エアクリーナの清掃

1. スクリュを外す。
2. フィルタカバーを外す。
3. フィルタを石鹸水の中で洗います。**ガソリンでは絶対に洗わないこと。**
4. フィルタを水道水ですすぎ、絞ってから乾燥した布でさらに水分を取ります。
5. エンジンオイルをフィルタに染み込ませ、手で絞って若干オイルがにじみ出る程度とします。
6. フィルタをカバーの中に収め、スクリュを締めます。

注意: フィルタが損傷していれば新しい純正部品に交換します。

DYM1565M **DYM1560M**

10.2 ブレード

⚠ **注意:** 必ず不意のエンジン始動を防ぐためにブレードのメンテナンスする前に、スパークプラグ・ワイヤを外してアースしてください。ブレードを持つために作業用革手袋あるいは小片を使用することにより、手を保護してください。芝刈機を持ち上げるにはエンジンの取扱説明書に基づき行ってください。
エンジンのクランクシャフトにブレード及びブレードアダプタを固定する六角ボルトおよびワッシャを外してください。クランクシャフトからブレードとアダプタを取り外します。

⚠ **警告:** 異物を打撃した場合は、ブレードアダプタにひび割れがないか検査してください。必要な場合は交換してください。
ブレードの刃先はシャープとなっていれば仕上がりがきれいになります。ブレードは刃先に付着した芝カスを取り除き、できるだけ最初の斜角に近い刃先を保ってください。刃先をすりへらしているかもしれないか、磨耗しているかもしれません。 各々の刃先が片寄った刃とならないようにすることは、とても重要です。過度の振動や不適当なブレードのバランスが悪いと、エンジンと芝刈機に損害を引き起こすことにます。ブレードは注意深く平衡を保ってください。ブレードは円形の軸ドライバ上でそれの平衡を保つことによりバランスに関してテストすることができます。ブレードが磨耗したら新しい純正のブレードと交換してください。

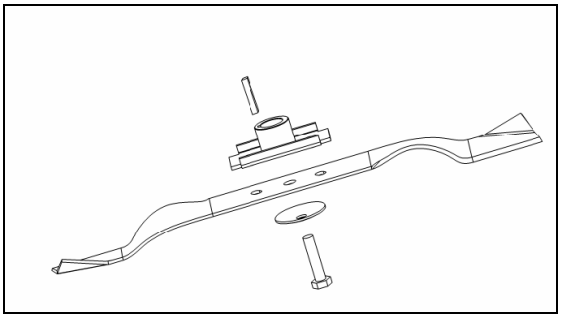


図 12

芝刈機へのブレードおよびブレードアダプタを再取り付けする前に、エンジン・クランクシャフト、およびブレードアダプタの内部表面を円滑にしてください。ブレードアダプタをクランクシャフトに差し込んでください。(図12参照)
アダプタから部品番号の表示がある側を向けてブレードを置いてください。ブレードの上にワッシャを置き、六角ボルトをねじ込んでください。下に示されたトルクで六角ボルトを締めてください。

.

10.3 ブレー取付けトルク

センター・ボルトを安全に操作できるように40Nm-50Nmのトルクで締めてください。すべてのボルト及びナット類は定期的にチェックしてください。長期間の使用の後、特に砂地状態で、ブレードは磨耗するようになり、オリジナルの刃先ではなくなることがあります。刈りあがりがよくない場合はブレードを新しいものに交換してください。交換するブレードは純正部品のみとしてください。純正ブレード以外の部品で芝刈機のバランスが悪くて発生した損傷はお客様ご自身の責任となります。

ブレードを交換する場合、純正のブレードを使用してください。部品のご注文はこの芝刈機をお買い求めの販売店にお問い合わせください。

⚠ **警告:** 回転しているブレードには絶対触れないでください。

10.4 エンジン

エンジンのメンテナンスに関しては別のエンジン取扱説明書に基づいてください。
この芝刈機に同封されているエンジン取扱説明書に記載されているエンジン・オイルを使用してください。
指示を注意深く読んで従ってください。
エンジン取扱説明書に基づきエアクリーナのメンテナンスをしてください。エンジンのエアクリーナは通常運転25時間毎に清掃してください。芝刈機が乾燥した埃の多い場所で使用された場合、ウレタンエレメントは時間にかかわらず早めに清掃してください。
エアクリーナをメンテナンスするためには、芝刈機に同梱されているエンジン取扱説明書に基づき行ってください。スパークプラグは一シーズンに一度清掃することを勧めます。また、スパークプラグのギャップを確認して調整してください。スパークプラグの交換は毎年芝刈りシーズンの初めに行うことを勧めます;
正確なプラグ品番およびギャップはエンジン取扱説明書にを参照してください。.
布か柔らかいブラシでエンジンを定期的に清掃にしてください。冷却装置(ブロワハウジング内部)をエンジン性能と長寿命を保つために、清掃してください。
必ずマフラ周辺部から草、汚れおよび燃焼性の残骸をすべて取り除いてください。
次に使用するまで30日以上放置する場合はガソリンが劣化して、エンジントラブルとなります。B&S純正の「燃料劣化防止剤」があります。お買い求めの販売店にお問い合わせください。

第 11 章 シーズンオフの保管

次の手順によりシーズンが終わったら実施して保管してください。
1. 燃料タンクから燃料を抜き取り、エンジンを始動してガソリンが無くなって停止するまで運転します。
2. 取扱説明書の「潤滑」項に述べられているように芝刈機を徹底的に清掃し円滑にします。.
3. エンジンのメンテナンスに関してはエンジン取扱説明書に基づいてください。.
4. 軽くブレードのさびを防ぐためにシャーシ・グリスを薄く塗布してください。
5. 芝刈機を乾燥した屋内に保管してください。

- 他のエンジン搭載作業機と同様に換気の良い保管場所としてください。
- 芝刈機に防錆処理をするべきです。オイルかシリコンを使用して芝刈機、特にケーブルおよびすべての可動部品をコーティングしてください。
- ケーブルを曲げないで、かつもつれさせないように注意します。.
- スタータ・ロープがロープ・ガイドから上に取り付けられている場合、スパークプラグ・ワイヤを抜いてボディアースし、ブレードコントロール・ハンドルを下げて、エンジンのスタータ・ロープをゆっくり引きます。ハンドル上のロープ・ガイド・ボルトにスタータ・ロープを滑り込ませてください。
- ガソリンを抜かない場合、ガソリンが劣化して次シーズンの始動が出来なくなります。ガソリンを抜かずにB&S純正の「燃料劣化防止剤」がありますので、ガソリンに混ぜてください。詳しくは芝刈機をご購入の販売店にお問い合わせください。

第 12 章 トラブルシューティング

トラブル	原因	処置対応
エンジン始動しない	チョークが正しく操作されていない.	チョークが正しい位置に操作する
	燃料がない	燃料タンクに新しいガソリンを入れる　補給方法についてはエンジン取扱説明書参照
	エアクリーナエレメントが汚れて詰まっている	エアクリーナエレメントを清掃する　清掃方法はエンジン取扱説明書参照
	スパークプラグが締まっていない	25-30Nmのトルクで締める
	スパークプラグ・コードが外れている	スパークプラグ・コードをスパークプラグにしっかりと差し込む
	スパークプラグのギャップが正しくない	スパークプラグのギャップを 0.7 ～ 0.8mm に調整する
	スパークプラグが損傷している	新しいスパークプラグに交換する　スパークプラグの品番はエンジン取扱説明書参照
	キャブレタから燃料があふれている	エアクリーナを外して、スパークプラグ・コードを外して軽くスタータロープを引いて余分なガソリンをきれいな布でふき取り、エアクリーナを取付ける
	燃料タンク内に汚れた遺物や水が混入	タンク内の燃料を抜き、清掃後新しいガソリンを入れる
エンジン始動不良もしくは出力不足	タンクキャップのベンチレーション不良(キャップを外すとヒューという音がする)	清掃するか、キャップを新しいものに交換する
	エアクリーナの詰り	エアクリーナエレメントを清掃もしくは交換
	スパークプラグが損傷している	新しいスパークプラグに交換する　スパークプラグの品番はエンジン取扱説明書参照
エンジンが不安定な運転	スパークプラグのギャップが正しくない	スパークプラグのギャップを 0.7 ～ 0.8mm に調整する
	エアクリーナの詰り	エアクリーナエレメントを清掃もしくは交換
	エアクリーナの詰り	エアクリーナエレメントを清掃もしくは交換 清掃方法はエンジン取扱説明書参照
エンジンの低速が不安定	冷却フィンが詰まったり、冷却口入口が詰まっている	ごみを除去する
	キャブレタが詰まっている	お買い求めの販売店に相談し修理依頼する
	スパークプラグのャップが狂っている	スパークプラグのギャップを 0.7 ～ 0.8mm に調整する
エンジンの回転数が高速になる	冷却フィンが詰まったり、冷却口入口が詰まっている	ごみを除去する
エンジンオーバーヒート	スパークプラグのギャップが正しくない	スパークプラグのギャップを 0.7 ～ 0.8mm に調整する
	ブレードの緩み	ブレードを正しく締める
芝刈機の振動が大きい	ブレードバランス不良	プレートのバランスを取るか新品部品に交換する

第 13 章 保証

Briggs & Stratton Power Products Group, LLC(ブリッグス & ストラットン パワープロダクツ) は品質もしくは製造技術上あるいは双方の欠陥と認めた場合、エンジンおよび芝刈機のどのような部品でも無償で交換します。この保証に関して交換のために要する部品の運送費はご購入者の負担となります。いわゆるこれは完全な修理となります。この保証サービスを受けるには芝刈機ご購入の販売店にご連絡願います
この保証規定以外には明示された保証はありません。取引の都合上、および特殊な目的に適合する為の暗黙の保証はご購入から１年に限られており、加えて法律がその例外を許す限り、かつ全ての暗黙の保証も除外されます。国や政府によっては、暗黙の保証期間がいかに長くとも制限することを許可しないことがあり、またある政府によっては付随したり、また結果として生ずる損害の除外や制限を認めない場合もあります。したがって上記の制限及び除外はお客様には適用しない場合もあります。この保証はお客様に特殊の権利をお持ちいただくものであり、お客様はまた政府によって異なる別の権利をお持ちになっておられるかもしれません。

保　証　期　間

家庭用	業務用
１年間	９０日間

この保証規定による「**家庭用**」とは最初のご購入者が個人の住宅用に使用することを意味します。「**業務用**」とは営業用，収入源としての使用または貸出用を含む「家庭用」以外の全ての用途に使用することを意味します。この規定では一度でも「業務用」に使用されたことがあれば，それ以降は「業務用」とみなします。

保証登録カードはブリッグス＆ストラットンエンジンの保証サービスには必要ありません。保証を得るための購入日の根拠としてご購入日の納品書もしくは受領書を保管しておいてください。

ブリッグス＆ストラットン社は保証修理を歓迎し、ご迷惑をおかけすることをお詫び申し上げます。お買い求めの販売店を通して保証修理を受けることができます。ほとんどの修理が定期的に行われますが、保証サービスのために時々に行われることは適切ではないかもしれません。例えば、間違った取扱いや日常のメンテナンス不足、搬送時、または不適切な搭載のために損傷したエンジンには保証の対象とはなりません。同様に、もしエンジンのシリアル番号が削除されたり、エンジンが改造または修正した場合、保証の対象とはなりません。

- **正常な磨耗**：芝刈機は、他の作業機器のように、周期的なサービスと部品交換を必要とします。保証は、正常な使用による部品または芝刈機の寿命が消耗した為の修理は対象としません。
- **不適切なメンテナンス**：芝刈機の寿命は運転状況、メンテナンス次第で大きく影響します。埃の多い過酷な条件で稼動する場合では時期尚早の磨耗を起こすことがあります。そのような磨耗は泥や塵、スパークプラグの洗浄砂、または不適切なメンテナンスによる他の研磨する素材により発生したトラブルは保証の対象とはなりません。(フィルタ、カーボン等)
- **他の除外**： この保証ではブレード、スパークプラグ等の消耗部品を除外します。事故、悪用、改造、変更または不適当なサービス、化学薬品による故障を含みます。純正以外のアクセサリー・パーツは、製品保証から除外されます。

エンジンの出力定格情報

個々のガソリン・エンジン・モデルの総出力定格は、SAE（自動車技術者協会）のコード J1940（小型エンジン出力とトルクのレーティング手続き）に従ってラベル上に表示され、SAE J1995（改訂 2002－05）に従って定格性能が取得および訂正されました。トルクは 3060 rpm で計測し、出力は 3600 rpm で計測します。

ネット出力値は排気装置とエアクリーナを取り付けていることに対し、グロス出力値はこれらの付属品なしで計測されます。実際のグロスエンジン出力はネット出力より高く、特に周囲動作条件および個々のエンジンの違いの影響を受けます。エンジンが搭載される製品が多種多様であることや、エンジンの運転に関するさまざまな環境の問題を考慮すると、ガソリン・エンジンは動力装置の一部として使用された場合ネット出力には達しないこともあります。この差は、付属品（エアクリーナ、排気装置、充電、冷却、キャブレタ、燃料ポンプなど）、使用制限、周囲動作環境（温度、湿度、緯度）、個々のエンジンの違いなど、さまざまな要因によるものです。製造上および能力上の制約により、ブリッグス＆ストラットンは、このシリーズのエンジンの代わりにより高い出力のエンジンを使用することがあります。

輸入元
ブリッグス・アンド・ストラットン・ジャパン株式会社
滋賀県近江八幡市浅小井町 591
TEL ０７４８-34-0200　　ホームページ　www.briggsandstratton.co.jp